

# 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

## 2016年（平成28年）度事業報告

〔2016年（平成28年）4月1日～2017年（平成29）年3月31日〕

### トピックス

#### 熊本地震救援



4月14日、熊本県を中心に発生した強い地震で甚大な被害が出たことから、翌15日付朝刊で「熊本地震救援金」の募集を開始。2017年3月末日までに2,128件7,004万円が大阪社会事業団に寄せられた。第1次分として5月20日に3,000万円、7月11日、第2次分2,500万円を熊本県や日本赤十字社熊本県支部に贈呈、3月6日にも第3次分400万円を日本赤十字社熊本県支部へ贈呈した。

#### 世界子ども救援キャンペーン



9月5日から10月14日まで大阪本社社会部・津久井達、写真部・久保玲の両記者をヨルダンに派遣。シリア内戦による難民は第2次大戦後最多とも言われ、隣国のヨルダンも60万人の難民を受け入れている。将来の展望を持つことができないシリア難民の子どもたちの現状を取材し、「熱砂のかなたに～ヨルダンのシリア難民」のタイトルで、10月31日付朝刊から6回にわたり連載。11月27日、12月5日には見開き特集も掲載した。

#### 配食サービス車贈呈



国際高齢者年の1999年から始まった「配食車贈呈事業」は、3月から毎日新聞紙面などで一般公募し、18団体から応募があった。6月に外部選考委員による選考委員会があり、金沢市のNPO法人たすけ愛「配食サービスこだま」に決定。9月27日に贈呈式を開き、配食サービス車1台を贈った。

## 各公益事業ごとの事業報告詳細

(1万円以下は切り捨てて表示しています。)

### 公益事業 1 国内外の福祉に関する事業

(事業種別3, 4, 6, 7, 11, 12, 15)

「社会福祉のために」などと寄せられた一般寄付金は、3月末日現在で399件2,955万円(前年379件3,534万円)。歳末の「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」の年間売上額と歳末義援金の合計は2,970万円で、総計1,279件5,925万円(前年1,250件6,767万円)となった。これらの寄託金をもとに以下の事業を行った。

#### 児童福祉に関する事業

主催事業 (主催公演事業 事業区分17)

##### ◎施設児童就職予定者研修会・児童福祉施設から就職する生徒に祝い金贈呈

(支払負担金より63万円を支出)

大阪府下の児童福祉施設から中学、高校などを卒業して就職する生徒を対象に、社会人としての心構えなどを学ぶ研修会を2月4日、大阪市天王寺区で開催した。また、その会場で大阪府内の児童福祉施設から高校、短大を卒業して就職する63人(全員)に激励の意味を込め、祝い金を1人1万円ずつ贈呈。社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部、大阪府社会福祉協議会と共催。

(研修会は1975年～・祝い金は1962年～)

共催分担金事業(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18)

##### ◎平成28年度ゆうゆう(フレンドシップ)キャンプ

(支払負担金より40万円支出)

1997年からの継続事業で20回目。被虐待児童を対象に、共同生活を通じて自立心や社会性を育てることを目的としている。8月11、12日に大阪府岬町の大阪府立海洋センターで1泊2日のキャンプを実施。11月6日に奈良県吉野町の吉野宮滝野外学校、2017年2月4日には大阪市港区の八幡屋公園、大阪プール(アイススケート場)で日帰りキャンプも実施。大阪府青少年活動財団、府下の児童家庭相談室と共催。

##### ◎そよかぜ杯ボウリング大会(支払負担金より57万円を支出)

6月26日、大阪市北区梅田の桜橋ボウルで近畿各地の交通遺児をはじめ、病気・災害遺児らとその家族など90人が交流した。大阪交通遺児を励ます会と共催。

◎平成28年度「白崎青少年の家」野外活動キャンプ

(支払負担金より10万円を支出)

8月9日～11日、大阪市が管轄する児童福祉施設の6年生ら45人を、和歌山県由良町の県立白崎青少年の家に招待した。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

◎第48回新春こども大会(支払負担金より10万円を支出)

1月29日、大阪市が管轄する児童福祉施設の子どもたちが、冬休みに練習した踊りや演劇などを発表する「新春こども大会」を、大阪市の天王寺区民ホールで開催した。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

◎第31回駅伝・ロードレース大会(支払負担金より5万円を支出)

2月18日、大阪市が管轄する児童福祉施設の小・中学生300人が参加する駅伝ロードレース大会を、豊中市の服部緑地公園で開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

(キャンペーン事業 事業区分8)

◎母の日・父の日募金キャンペーン(支払助成金より68万円を支出)

両親への感謝の気持ちを親を亡くしたり、一緒に暮らせない子どもたちの支援にかえる「母の日・父の日募金キャンペーン」は、6月17日付朝刊で募金を呼びかけ、37件68万円が寄せられた。この中からCVV(社会的養護の当事者支援活動)へ34万円、あしなが育英会にも同額を贈呈した。

児童福祉特定団体助成・支援事業(文末のカッコ内は:支払助成金または経費)

\*母子生活支援施設「母と子の一泊旅行」=7月9日～10日、大阪府内の2民間母子寮の母子40人を、和歌山・白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへのバス旅行に招待。大阪府民間母子生活支援施設連絡協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(28万円)

\*平成28年度琵琶湖セツルの家=7月1日～8月31日、滋賀県大津市青柳浜の琵琶湖畔に宿泊施設を開設し、保育所、児童館、子供の家などの利用者に開放。大阪市地域福祉施設協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(8万円)

\*2016年ふれあいキャンプ=8月16日～18日、愛の手運動(里親さがし運動)を展開する家庭養護促進協会主催の小学1年生以上の里子を対象としたキャンプ。徳島県阿南市のYMCA阿南国際海洋センターで開催。本団が単独で助成後援した。(18万円)

\*平成28年度第63回児童福祉施設スポーツ大会=8月17～18日、名古屋市の大高緑地公園野球場で開催。本団が助成後援した。(1万円)

**\* 社会的養護当事者による「学習会・茶話会、なごやかサロン、講演会」**＝8月21日～2017年2月26日、社会的養護にかかわる当事者が、自らの体験をもとにした学習会や茶話会（2回）、大学や専門学校進学のための奨学金説明会（1回）、講演会（1回）を県司法書士会館（名古屋市熱田区新尾頭1）等で開催。また、自立援助ホーム新設に伴うパンフレット作成も行った。特定非営利活動法人「なごやかサポートみらい」の主催。本団が助成後援した。（49万円）

**\* 講演会「発達障害という生きづらさを理解して、施設内で出来る子ども達への支援を事例から考える」**＝9月25日、北海道大学名誉教授・児童精神科医の田中康雄さんを招き、児童福祉施設・児童相談所職員等を対象に、発達に課題を抱える子どもへの具体的な関わり方を実践的にアドバイスする講演会を大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）で開催。社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部の主催。本団が単独で助成後援した。（50万円）

**\* 平成28年度自立支援研修（いずみサロン・職業体験研修）**＝10月1日～2017年2月18日、名古屋市内の児童養護施設で暮らす中学3年～高校3年生までを対象に、同市北区の北生涯学習センター等で調理体験や職業体験を通じ就労について学び、自立のための支援を4回行った。社会福祉法人昭徳会「就労支援事業サポートいずみ」の主催。本団が助成後援した。（39万円）

**\* 第44回北摂子ども大会**＝12月3日、北摂地域の児童養護施設などに暮らす子どもたちのスポーツ大会。茨木市公園（北）グラウンドで開催。本団が助成後援した。（10万円）

## 助成を伴わない事業

**\* 児童施設に絵を贈る運動** 12月に、子どもたちの情操教育の一環として「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」に寄せられた作品の中から、絵画6点を愛知・岐阜・三重県内の児童養護施設に贈った。また、2017年2月にも大阪府が管轄する高鷲学園など児童福祉施設3カ所に絵画3点を贈呈した。

## 高齢者福祉に関する事業

### 主催事業

（助成「応募型」事業 事業区分13）

◎配食サービス車贈呈事業（支払助成金より170万円を支出）

\*トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

## 医療福祉に関する事業

(キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8)

### ◎小児がん征圧キャンペーン(支払助成金より360万円を支出)

1996年から毎日新聞社と展開している「生きるー小児がん征圧キャンペーン」と連動した「小児がん征圧募金」は、4月～2017年3月末までに、大口寄付1件2,143万円を含む72件2,233万円(前年85件2,888万円)が寄せられた。3月に贈呈式を開き、次の9団体に各40万円ずつ計360万円を贈呈した。

なお、今年度から8年間、AK基金からの助成がスタートした。

1. チャイルド・ケモ・ハウス(神戸市)
2. 日本クリクラウン協会(大阪市)
3. 近畿小児血液・がん研究会(吹田市)
4. 京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ  
「にこにこトマト」(京都市)
5. 京都ファミリーハウス(京都市)
6. あいち骨髄バンクを支援する会(名古屋市)
7. 守口ぶどうのいえ(守口市)
8. こどものホスピスプロジェクト T S U R U M I こどもホスピス(大阪市)
9. J H D A C (Japan Hair Donation&Charity)(大阪市)

上記、「小児がん征圧募金」2,233万円の内、大口寄付2,143万円は昨年の「AK基金(AK1)」と同様に、特定費用準備資金、特定資産「AK基金2(AK2)」として計上し、2017年度から2025年度までの9年間、経費を含めて下記のとおり、小児がんの子どもたちの支援や研究に取り組む団体に贈呈する。

AK基金(AK1)(AK2)各年度別支出計画(経費を含む)											
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	合計
AK1	334万	336万			2,674万						
AK2		164万	164万	164万	164万	164万	164万	162万	498万	499万	2,143万
	334万	498万	499万	4,817万							

## 心身障害者福祉に関する事業

(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18)

### 共催分担金事業

### ◎第19回視覚障害者ICT・サポートボランティア講習会

(支払負担金より30万円を支出)

1997年度からの継続事業で、視覚障害者の情報環境を支える機器(インフォメ

ーション・コミュニケーション・テクノロジー) を利用する視覚障害者に、操作方法などを教える指導者養成のための講習会。5月21日～2017年2月、全14回開講。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

- ・①ファッションコーデイナーアプリ体験会、5月21日。18人
- ・②通販サイト利用講習会1、6月25日。4人
- ・③通販サイト利用講習会2、6月25日。4人
- ・④点字ディスプレイ「ブレイルメモスマート」体験会1、7月8日。4人
- ・⑤点字ディスプレイ「ブレイルメモスマート」体験会2、7月8日。3人
- ・⑥NTT ドコモ iPhone体験講習会、7月30日。14人
- ・⑦TV・レコーダーリモート視聴アプリ「メディアアクセス」体験会1 (ios)、8月25日。3人
- ・⑧TV・レコーダーリモート視聴アプリ「メディアアクセス」体験会2 (ios)、8月26日。3人
- ・⑨iPhone版ファッションコーデイナーアプリ体験会、10月22日。11人
- ・⑩UDcast体験会、11月5日。15人
- ・⑪ブレイルメモスマート体験講習会1、12月17日。3人
- ・⑫ブレイルメモスマート体験講習会2、12月17日。4人
- ・⑬NTTドコモ iPhone体験会、2017年1月28日。14人
- ・⑭ブレイルセンス講習会、2月18日。4人

#### ◎第29回専門図書点訳・音訳講習会（支払負担金より100万円を支出）

専門図書の点訳、音訳の技術を修得するための講習会で、下記の5講座を開講した。受講後は点訳・音訳ボランティアとして活躍してもらおう。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

- ・専門音訳講習会「古典コース」5月21日～6月25日。全6回。20人
- ・専門点訳講習会「箏の楽譜コース」6月10日～7月15日。全6回。6人
- ・専門音訳講習会「テキストデイジー編集コース」8月24、25日。11人
- ・専門点訳講習会「UEB英語点訳コース」9月15日～10月27日。全5回。22人
- ・専門音訳講習会「音声解説スキルアップコース」11月25日、12月2、9日、全3回、20人

#### ◎2016年度「声の点字毎日」の発行（支払負担金より10万円を支出）

全国の国立ハンセン病療養所で生活している視覚も皮膚感覚も失った人たちに点字新聞を発行する点字毎日の「声の点字毎日デイジー版（月2回発行）」を寄贈する事業。費用の一部を、東京・西部社会事業団とともに10万円ずつ分担した。

（表彰、コンクール事業 事業区分14）

#### ◎全国盲学校弁論大会全国大会（支払負担金より20万円を支出）

第85回全国盲学校弁論大会全国大会が10月7日、大阪府立大阪南視覚支援学校で開かれ、福井県立盲学校高等部専攻科理療科3年の松田えりかさんが優勝した。毎日新聞社点字毎日、全国盲学校長会と共催。本団は2002年度から共催に加わった。（1928年～）

## その他の社会福祉事業団体の事業助成

(助成(応募型)事業 事業区分13)

### ◎公募福祉助成金制度(支払助成金より95万円を支出)

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事业でどこからも援助がない団体などへの一般公募の事業助成金制度。11月10日付朝刊で告知。1月31日に選考委員会を開催。申請のあった25団体の内、下記の5団体に総額95万円を贈呈した。

1. 一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ(神戸市) 助成金額30万円
2. 虹の架け橋～養育者を支援する里親・家庭養護の会(愛知県東海市) 助成金額30万円
3. つれもて和歌山(和歌山市) 助成金額15万円
4. 兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会(兵庫県高砂市) 助成金額10万円
5. ボランティアグループ ヤングネットワークとやま(富山市) 助成金額10万円

### 心身障害者特定団体助成・後援事業(文末のカッコ内は:支払助成金)

\* 第51回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会=7月10日と24日、大阪府久宝寺緑地公園軟式野球場などで開催。本団が助成後援した。(レプリカ代1万円)

\* 第41回わたぼうし音楽祭=8月7日、奈良市の奈良県文化会館で開かれ、わたぼうし大賞に山口県周南市の大橋邦男さん(57)作詩、同市の高島利治さん(65)作曲の「紙飛行機」が選ばれた。奈良たんぼぼの会主催の同音楽祭を、毎日新聞社とともに本団が助成後援した。(本団の分担は20万円で、東京10万円、西部5万円)

\* 第44回愛知心理療育キャンプ=8月18日～23日、愛知県蒲郡市のホテルボンセジュールで開催。本団が助成後援した。(3万円)

\* 名古屋市視覚障害者協会の機関紙「のぞみ」第37号発行

1月に発行する発行費用を助成した。(3万円)

### その他目的を達成するために必要な事業

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

### ◎毎日社会福祉顕彰(支払負担金より166万円を支出)

毎日新聞大阪社会事業団創立60周年記念事業として始まり、46回目。社会福祉の分野で献身的な活動をしている個人、団体を顕彰する。毎日新聞紙面などで公募し5月末に応募を締め切り、厚生労働省や大学教授などの有識者からなる審査会を経て、次の1個人2団体が選ばれた。贈呈式は10月21日に東京・如水会館で

行われ、賞牌と賞金（1件につき100万円）を贈った。

◇家常恵さん＝元大阪府中央子ども家庭センター所長（大阪府大東市）

大阪府内の児童相談所長を歴任し、虐待を受けた子どもの保護に尽力した。定年退職後も児相や養護施設、医療関係者らと「大阪子どもネットワーク」を全国に先駆けて作るなど、55年以上にわたり、子どもを虐待から守る活動を続ける。

◇公益社団法人青少年健康センター＝斎藤友紀雄会長（東京都文京区）

不登校やひきこもりの若者と家族を支えようと1985年、精神医学や心理学の専門家らで設立。3年後に居場所となるデイケア施設を設置した。自殺予防の電話相談「クリニック絆」を併設。長年、苦しむ若者を支え続けている。

◇特定非営利活動法人地域活動支援センターおおぞら＝植村ゆかり理事長（鳥取県米子市）

養護学校の保護者7人が1994年に作業所を開設したのが始まり。作業所▽書道、ダンスなど6講座▽福祉の店2店ーなどを展開し、障害者約80人が利用する。10回目を迎えたバリアフリーの水泳・ランニング複合競技「全日本Challengedアクアスロン皆生大会」を国内で初めて企画し、事務局として運営を支えるなど、障害者が輝く手助けをしている。

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

#### ◎歳末たすけあい運動

11月10日～12月22日にかけて「歳末義援金募集」や「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」などの催しを実施。義援金や収益金は、今後1年間の社会福祉事業に役立てられる。

#### \* 歳末義援金募集

社告や特集、これまでの寄付者などへのダイレクトメールで歳末義援金を募った。寄せられたのは880件1,208万円で前年度より105万円減。配食サービス車を贈るほか、公募助成金などをはじめとする公益事業1（国内外の福祉に関する事業）の資金として活用する。

#### \* チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会

12月10日～12月12日、毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。今年より新たに、MBS、スポーツニッポン新聞社が後援に加わり、広報をバックアップした。3月末までの最終年間売上金額は1,762万円（12月の即売会単独では1,767万円：東日本大震災コーナー28万円を含む）で昨年比157万円減となった。本事業収益から、計65万円を歳末慰問金として次の団体に配分した。

（支払助成金より65万円を支出）

1. 大阪子どもの貧困アクショングループCPAO（大阪市生野区） 10万円
2. 大阪更生保護施設連盟（大阪市中央区） 5万円
3. 大阪家庭少年友の会（大阪市中央区） 5万円
4. エスペランス桑名（児童養護施設・三重県桑名市） 15万円

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 5. 赤羽根学園（同・愛知県田原市） | 15万円 |
| 6. 日本児童育成園（同・岐阜市）  | 15万円 |

**\* 第49回歳末たすけあいチャレンジ棋力認定戦・チャリティー指導基会**  
**（支払助成金より3万円、材料費として3万円を支出）**

11月27日と12月4日に大阪市北区で開催。収益金をもとに囲碁セット3組を製作、漫画「ヒカルの碁」全23巻とともに、2017年2月に大阪府が管轄する聖ヨハネ学園など3児童福祉施設に贈呈。スポーツニッポン新聞社、日本棋院が主催、本団が単独で助成後援した。

**◎「指定寄付金事業」（支払助成金より91万円を支出）**

寄付金の中で助成先が特定された寄付金。「あしなが育英会に」「愛の手運動に」などに60件91万円が寄せられた。

**◎機関紙「そよかぜ」の発行（印刷製本費より14万円を支出）**

機関紙「そよかぜ」49号を6月1日に8,000部発行した。

**その他の名義後援事業**

とき	案件名	ところ
3月1日～5月31日に募集。11月に表彰式	「第14回オンキョー世界点字作文コンクール」の名義後援について	
4月3日、17日(24日)	「第53回全大阪ろう社会人軟式野球春季大会」の名義後援について	大阪府営久宝寺緑地軟式野球場・大阪市長居公園野球場
4月10日	「第36回愛知県聴覚障害者体育大会」の名義後援と野球大会優勝チームへの賞状贈呈について	瀬戸市民公園体育館など。
4月16日、5月8、21、22、29日	「平成28年度愛知県障害者スポーツ大会」の名義後援について	名古屋市千種区の星ヶ丘ポウル、豊田市運動公園陸上競技場など
4月1日～18年3月	関西いのちの電話 第52期「電話相談ボランティア養成講座」の名義後援について	大阪市淀川区十三元今里3-1-72社会福祉法人博愛社5階会議室など
4月21日～23日	「バリアフリー2016」の名義後援について	大阪市住之江区のインテックス大阪
4月26日～11月20日	「第13回名古屋市障害者スポーツ大会」の名義後援について	名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムなど
5月29日	「第23回共生・共走リレーマラソン」の名義後援について	大阪市鶴見区の花博記念公園・鶴見緑地内
6月2日～4日	「第19回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2016～」の名義後援について	名古屋市のポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）
6月4日	「共に生きる20」の名義後援について	大阪府箕面市の箕面市立メイプルホール大ホール

6月16日～17日	「平成28年度近畿救護施設研究協議会」の名義後援について	大阪市港区のホテル大阪ベイタワー
6月26日	「第34回日本ライトハウス チャリティコンサート」の名義後援について	大阪市北区のザ・シンフォニーホール
7月2、3日	「第29回全愛知ろう社会人軟式野球秋季大会 兼 第41回記念全日本ろう社会人軟式野球選手権大会予選選考会」の名義後援と楯の交付について	愛知県日進市、口論義運動公園野球場
7月3日	「第33回愛知県聴覚障害者大会」の名義後援について	愛知県扶桑町の扶桑文化会館、扶桑町中央公民館
7月9日～2017年2月4日	平成28年度「児童養護施設等入所児童及び里親委託児童に対する自立生活技術講習会(ソーシャル・スキル・トレーニング)」事業の名義後援について	大阪市の市立社会福祉センターなど
7月10日、24日	「第51回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会」の後援と記念盾、賞状の贈呈について	大阪府営久宝寺緑地軟式野球場など
7月13日～10月28日 (作品募集)、17年2月 (入選作品展覧会)	「現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト第6回公募展」の名義後援について	ディアモール大阪 多目的空間 ディアルーム(大阪市北区)
7月16日	平成28年度合同求人説明会「福祉の就職総合フェア2016 in OSAKA」の名義後援について	大阪市住之江区南港北のインテックス大阪2号館
7月23日	「素のままフェスタ2016」の名義後援について	大阪府豊中市の市立アケア文化ホール、市立中央公民館
8月2日～7日	「第37回子どもたちの讃歌展」の名義後援について	大阪市立美術館 地下展示室
8月7日～12日	「第33回土と水と緑の学校」の名義後援について	和歌山県新宮市の高田地区一帯
8月9日	「第66回施設従事者激励会」の名義後援について	大阪市天王寺区の「新歌舞伎座」
8月9日～9月9日	全日本若手障害者リーダー育成留学”ターニングポイント@RYUGAKU”の名義後援について	国内と海外
9月25日	「第57回大阪知的障がい者福祉大会(阪南大会)」の名義後援について	阪南市立文化センター サラダホール(阪南市尾崎町35-3)
10月8、9、15、16日	「第35回スポーツフェスタ2016大阪」の名義後援について	大阪市のヤンマースタジアム長居(長居陸上競技場)など
10月8日	生き生き長寿フェア2016「はつらつ健康プラザ」の名義後援について	愛知県大府市、知多郡東浦町の「あいち健康の森公園」
10月16日	「ファインエアフェスティバル2016」の名義後援について	堺市南区城山台5の府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)など
10月23日	「第44回全大阪ろうあ者文化祭」の名義後援について	大阪市長居障がい者スポーツセンター(大阪市東住吉区長居公園1-32)

10月25日	「共同募金運動70年記念・第64回愛知県社会福祉大会」の協賛について	名古屋市中区の愛知県体育館
10月27日	平成28年度 科学研究費助成事業 桃山学院大学社会学部50周年記念シンポジウム、大阪市ボランティア・市民活動センター30周年記念シンポジウム「自閉症と豊かな暮らし～キャンプ・ロイヤルから学ぶ～」の名義後援について	大阪府中央区大手前1の大阪府立男女共同参画・青少年センター 特別会議室
11月5日	「第52回肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」の名義後援について	大阪府八尾市山城町一丁目第1公園(通称:買物公園)
11月6日	「第61回名古屋市身体障害者福祉大会」の後援について	名古屋市中区役所ホール
11月8日	「第17回大阪救護施設合同文化事業」の名義後援について	大阪市都島区の「太閤園」迎賓館3階ダイヤモンドホール
11月15日	「第53回点字毎日文化賞」の名義後援について	毎日新聞東京本社(表彰式)
11月16日	「平成28年度大阪府社会福祉大会」の名義後援について	大阪天王寺区の大阪国際交流センター大ホール
11月19日	「平成28年度医療社会事業従事者講習会」の名義後援について	大阪府中央区谷町7の大阪府社会福祉会館501号室
11月26～27日	「第20回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会」の名義後援について	京都市北区紫野北花ノ坊町の佛教大学
12月18日	「第56回愛知県身体障害者福祉大会」の名義後援について	名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市正明寺3-114)
2017年1月20～24日	「第36回『障がいのある子どもに学ぶ』図工展」の名義後援について	大阪市長居障がい者スポーツセンター
2月7～2月12日(審査会は2月6日)	「第51回名古屋市障害者作品展示会」の後援について	名古屋市瑞穂区の名古屋市博物館ギャラリー第1、2、3、8室。
2月9～11日	「2017国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会」の名義後援について	大阪府中央体育館(大阪府港区田中3)
2月26日	安心して長期療養ができるように！難病患者的の医療・福祉を考える「府民のつどい」の名義後援について	大阪府中央区のエル・おおさか
3月4日	平成28年度 合同求人説明会「福祉の就職フェア SPRING in OSAKA」の名義後援について	京セラドーム大阪9階スカイホール、全周使用(大阪府西区千代崎3)
3月5日	「第35回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい」の名義後援について	碧南市文化会館(碧南市源氏神明町4)
3月17日～4月5日	「世界ダウン症の日写真展in大阪2017」の名義後援について	大阪府立中央図書館1階エントランスホールギャラリー(西区北堀江4-3-2)

## 公益事業 2 シンシア基金事業（事業種別 3）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分 8）

### ◎シンシア基金（支払助成金より60万円を支出）

身体障害者をサポートする介助犬への理解を深め、育成や研究活動に役立てるため、1998年から阪神支局が始めたキャンペーンと連動して募金を開始した。

2017年3月末までに寄せられた「シンシア基金」は45件131万円（前年33件130万円）となった。

身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の社会的認知を促進するため、毎日新聞や宝塚市などで行く実行委員会が主催する身体障害者補助犬シンポジウム（12月11日、宝塚市のアピアホール）の経費として60万円を支出した。

（助成（応募型）事業 事業区分13）

### ◎シンシア基金助成事業（支払助成金より70万円を支出）

身体障害者補助犬支援に関わる団体などに公募助成する制度。11月に紙面で一般公募し、1月31日に選考委員会を開催。申請のあった4団体の内2団体に70万円を贈呈した。

1. 社会福祉法人日本介助犬協会（本部は横浜市、訓練センターは愛知県）  
助成金額30万円
2. NPO法人兵庫介助犬協会（西宮市）  
助成金額40万円

### その他の名義後援事業

- ◇「介助犬フェスタ2016」を名義後援＝5月21日、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園内、地球市民センターで開催。社会福祉法人日本介助犬協会の主催。

## 公益事業 3 災害救助に関する事業（事業種別 3）

### 災害救援基金事業

\* 熊本地震救援金（支払助成金より5,900万円を支出）

\* トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

### ◎東日本大震災救援事業

\* 東日本大震災被災者救援金（支払助成金より300万円を支出）

今年度は3月末までに64件142万円が寄せられた（総合計7,744件4億7,878万円）。第15次分として、昨年度の繰越し額と併せて300万円を、2017年3月に日本赤十字社に寄託した。今回で寄託総額は4億6,727万円となった。

**\* 毎日希望奨学金制度（支払助成金より4,626万円を支出）**

東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児の学業を支える「毎日希望奨学金」（毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団、毎日新聞社で創設）は、6年目を迎え、奨学金基金への募金を毎日新聞紙面などで呼びかけた。今年度分は3月末までに890件2,376万円が寄せられた。

（2011年度からの合計14,480件8億3,092万円：東京・西部分含む）

3月14日付朝刊で「毎日希望奨学生を募集」の社告を掲載するとともに、被災地の高校や大学などに直接照会をかけた。50人の応募枠に対して55人が申請。5月2日に選考委員会が開かれ、全員一致で55人に支給が決定。奨学生数は継続受給者と合わせて194人（高校・高専生110人、短大・大学生66人、専修学校生18人）になった。なお、6月末で1人、9月末にも1人退学したため、1月末までに合計4,626万円を支出した。

・4月25日、139人（4、5、6月分）	834万円を支給
・6月25日、55人（4、5、6月分）	330万円を支給
・7月25日、193人（7、8、9月分）	1,158万円を支給
・10月25日、192人（10、11、12月分）	1,152万円を支給
・17年1月25日、192人（1、2、3月分）	1,152万円を支給

（合計4,626万円）

**その他の名義後援事業**

◇「関西学生Jazz Festival 2016」を名義後援＝5月29日、神戸市の神戸ハーバーランド特設ステージで開催。会場内に募金箱を設置し、熊本地震救援金に寄託した。関西学生Jazz Festival実行委員会の主催。

## 公益事業 4 国際協力に関する事業（事業種別 15.16）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

**◎世界子ども救援キャンペーン（委託費より92万円を支出）**

\* トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

なお、今年度より取材経費を大阪、東京、西部社会事業団で（4：4：2）の割合で経費分担した。

**\* 報道写真展「熱砂のかなたに～ヨルダンのシリア難民」**

今回のシリア難民の取材をもとに、報道写真展「熱砂のかなたに～ヨルダンのシリア難民」（カラー写真34枚展示）を1月14日から3月2日まで、京都市北区の立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館1階ギャラリー（協力・立命館大学文学部、同大学図書館）と、3月4日から12日まで、大阪市北区の堂島アバンザ1階エントランスホール（協賛・堂島アバンザ管理株式会社、

協力・ジュンク堂書店)で開催した。

**\* イタリア地震救援金 (支払助成金より31万円を支出)**

9月1日付朝刊から「イタリア地震救援金」を募集。9月末までに26件31万円が寄せられた。10月5日にイタリア大使館に31万円を贈呈した。

**\* 世界子ども救援金**

読者らから寄せられた「世界子ども救援金」は、3月末現在545件648万円。一般公募の「公募助成制度」と、今回のキャンペーンで紙面掲載された地域や団体を中心にした「取材地助成」、これまでの取材地への「継続助成」の3つの支援を行う。いずれも活動内容、実績などから選考している。

なお、今年度から8年間、MH基金からの助成がスタートした。

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	合計
375万	3,000万円							

**(助成(応募型)事業 事業区分13)**

◎「世界子ども救援金」公募助成制度 (支払助成金より140万円を支出)

海外での支援活動を行う団体を11月に紙面で一般公募、1月31日に選考委員会を開催。申請のあった6団体の内、次の5団体に総額140万円を贈呈した。

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 1. マナムニ母子寮関西連絡所             | 助成金額30万円 |
| 2. シエラレオネフレンズ               | 助成金額30万円 |
| 3. 特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター | 助成金額30万円 |
| 4. 特定非営利活動法人 ネパール・ヨードを支える会  | 助成金額30万円 |
| 5. ネパール震災プリタム実行委員会          | 助成金額20万円 |

◎「世界子ども救援金取材地助成」 (支払助成金より150万円を支出)

5団体へ総額150万円を贈呈した。

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 1. 日本国際民間協力会 (NICCO) | 助成金額30万円 |
| 2. 国境なき医師団日本         | 助成金額30万円 |
| 3. 国際連合世界食糧計画WFP協会   | 助成金額30万円 |
| 4. 日本ユニセフ協会          | 助成金額30万円 |
| 5. 国連UNHCR協会         | 助成金額30万円 |

◎「世界子ども救援金継続助成」 (支払助成金より50万円を支出)

2団体へ総額50万円を贈呈した。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. アジア協会・アジア友の会 | 助成金額30万円 |
| 2. ラリグラス・ジャパン   | 助成金額20万円 |

2016年(平成28年)度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2017年(平成29年)5月

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団  
以上